

陳情文書表
(令和2年第2回定例会)

陳情第4号	令和2年5月12日受理
付託委員会	福祉常任委員会
件名	「緊急事態宣言」解除・自粛基準緩和を求めることに関する件
陳情要旨	
<p>(要旨)</p> <p>新型コロナウイルスにより社会が混乱していますが、その対策として下記事項を実施願いたい。</p> <ol style="list-style-type: none">1 政府に対して「緊急事態宣言」を一日も早く解除するよう要望すること。2 千葉県知事に対して外出自粛要請、休業要請の基準を緩和するよう要望すること。3 感染防止対策を実施した上で、市長に小中高の早期再開の実施を要望すること。4 市長に鬱・自殺者防止のための相談窓口の増大・PR実施を要望すること。 <p>(理由)</p> <p>新型コロナウイルス対策として政府より「緊急事態宣言」が出され、千葉県知事より外出自粛要請、休業要請が出されてきました。緊急事態宣言の発令から約1カ月が経過し、市内の経済は打撃を受け、すでに深刻な状態です。</p> <p>このような状況の中、「緊急事態宣言」が5/31まで延長され、千葉県は引き続き「特定警戒都道府県」となっております。</p> <p>コロナショックの影響により、中小企業の6割以上が6月末までに経営危機に陥るとの調査(エヌエヌ生命保険)もあり、経済活動の再開は待ったなしです。経済のさらなる悪化により、倒産・失業とそれに伴う自殺者の増加も予想されます。感染者による死亡も、経済苦による自殺による死亡も最小限に抑える対策をとるべきです。</p> <p>また、学校の休校による影響は生徒の学業面での遅れ、精神的な影響、家庭への負担等もあり早期に再開させるべきです。</p> <p>短期で収束するとの目途が立っていない以上、終わりの見えない休業要請や</p>	

陳情文書表
(令和2年第2回定例会)

休校を続けるというのは現実的ではありません。一日も早く従来の生活リズムに戻していくべきです。

日本はこれまで、欧米に比べて外出等の規制が緩やかであったにもかかわらず、単位人口あたりにおける感染死者は比較的少数にとどまっています。基礎疾患のある方や高齢者の方は、重症化リスク等の面でも引き続き外出自粛等はきっちり行うべきでしょう。しかし、それ以外の方は、社会への影響を考慮し、感染拡大防止策をとりながら早期に元の生活に戻していく必要があると考えます。